

Wild & Academic



HILLOCK 初等部の概要

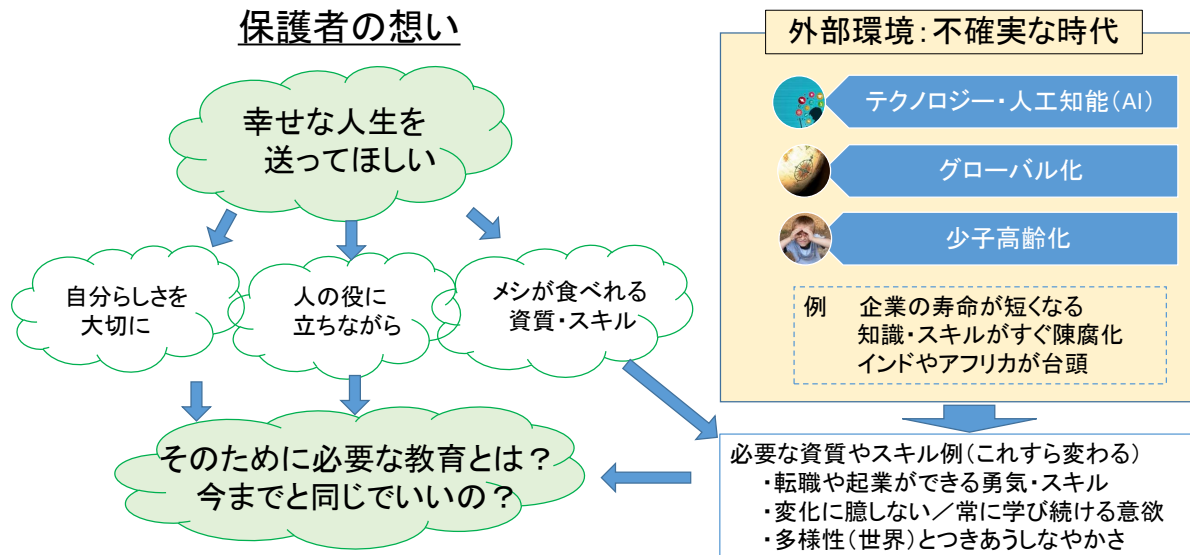


HILLOCK

= 小高い丘

砦公園隣接

保護者の想いと環境



未来の学び(1)アジアの学校



- ・ 経済産業省の研究会(「未来の教室」とEdTech)より
 - ・ 中国：イノベーション人材育成、STEM教育に投資(4兆円)
 - ・ シンガポール：トップダウンでAI人材育成、上位10%は高校受験廃止
(イスラエル：企業を巻き込みテクノロジー、PBLを推進)

THEアジア世界大学ランキング2018

総合ランキング

2018順位	2017順位	2016順位	大学名	国
1	1	1	シンガポール国立大学	シンガポール
2	3	5	清華大学	中国
3	2	=2	北京大学	中国
4	5	4	香港大学	香港
=5	6	6	香港科技大学	香港
=5	4	=2	南洋理工大学	シンガポール
7	11	13	香港中文大学	香港
8	7	7	東京大学	日本
9	9	9	ソウル大学校	韓国
10	8	10	韓国科学技術院 (KAIST)	韓国

※Times Higher Education「Asia University Rankings 2018」を参考に作成

- ・ アジアのトップ国の動きは速い
- ・ 海外の大学院誘致も進む
- ・ エリート育成を国策として徹底して投資・推進

トップダウン→エリート

未来の学び(2)アメリカの学校



- 新たな潮流の発信地 (参考:「学習する学校」「ブレンディッドラーニング」)
 - 特色ある取組み: 富裕層向け情緒教育(年間授業料400万円)、テクノロジー特化型
- 公教育は民営化等で劣化するところも (参考:「崩壊するアメリカの公教育」「アメリカの教室」)

「THE世界大学ランキング 2019」 トップ10の大学

2019の 順位	2018の 順位	大学名	国
1	1	オックスフォード大学	イギリス
2	2	ケンブリッジ大学	イギリス
3	3	スタンフォード大学	アメリカ
4	5	マサチューセッツ工科大学	アメリカ
5	3	カリフォルニア工科大学	アメリカ
6	6	ハーバード大学	アメリカ
7	7	プリンストン大学	アメリカ
8	12	イエール大学	アメリカ
9	8	インペリアル・カレッジ・ロンドン	イギリス
10	9	シカゴ大学	アメリカ

Times Higher Education (THE)

- 先進的取組みは参考になる(オンライン活用等)
- 初等公教育は玉石混交
- 高等教育は圧勝(世界中からトップ層を集める。日本人留学生減少)

先進→起業家・稼ぐ

未来の学び(3)ヨーロッパの学校



- 国によって大きく異なる／階級制度の名残も(複線式)
- 市民が参加し、新しく学校を創る場合もある(補助金も出る)

- フィンランド
 - 幼児期を少人数でとても丁寧に、遊び中心で過ごす(→自己肯定感)
 - 平等性を意識した初等教育
- デンマーク
 - Teach→Facilitateへの移行
 - 個を認める意識が高い
- オランダ
 - 一定数の保護者の要請で学校を創ることができる。初等教育でも選択肢が多い
- イギリス
 - 言葉を大切にする教育(語彙学習)

これステキ!

- 国によって大きく異なる。
- 先進性より、情緒重視の取組みが多い印象
- 少人数で丁寧な教育／個人が市民として自立する教育、を目指しているか
- 高等教育はイギリスが優位

学習者主体⇒自立

ご参考:日本の学校事情



【英国人教師ルーシー・クレハンの見解】

- 出る杭は打たれる(ルールに従い、文句を言わない)
- クリエイティビティーより、基礎学力やクラス内の秩序重視
- 教師が熱心(授業研究)、塾の存在、PISAで高得点

【個人的な見解】

- 歴史的経緯を引きずる:「個人」より「国策」
 - 明治以来、富国強兵策の一環
 - 軍事教練の名残＝号令で人を動かす文化→思考力を削る・芽を摘む
- 変わろうとしている。But... 世界Top標準の教育からは周回遅れの感

福沢諭吉の言葉
「教育」ではなく「発育」
であるべきを今こそ

良い点もたくさんある(落とした財布が返る国)が、時代とのズレも...
「目上が下の足らずを指摘し、下は従う」文化が全てを貫く



日本の学校の状況



一番の問題は「この多様化の時代に「学びの選択肢がない」こと」

費用が高い
200万円～
400万円/年

International
School



外国人として
育てたい
わけではない

中庸は
ないのか？

公教育
(特に、小学校は
私立が少ない)



タダほど
高いものは
ない？

今の教育で
大丈夫？

習い事の
月謝が別途

ないなら
つくろう
第三の選択肢

特徴



ワイルド

(自然にふれながら、たくましくしなやかに)



アカデミック

(探究&教科、日本語軸バイリンガル ETC.)



東京がキャンパス

(フットワーク軽く、社会とつながる)



ヒロック宣言
(Hillock Constitution)

1. 福利の拡張

Well-Being

ヒロックの立ち返るもの「ヒロック宣言」(有識者との協働案)

ヒロック初等部（元教員シェルパ*＋教育起業家）

Learning Sherpa①

スクールディレクタ（校長）

- 元公立小の教員（主審：自由進度学習の始めかた）
- 寄り添う学び、ICT、特別支援などが得意



養手章吾
ミノさん



Management Team

多様な教育起業家チームがサポート

堀谷武志 （ファウンダー）	・キッズアイランド/ ソダチバ・プロジェクト代表	中村一彰 ・ウィリング （STEMON）代表
野村竜一 ・Manai代表 ・ロジム代表	長井悠 ・タクトピア 代表	村田学 ・国際教育評論 家

Learning Sherpa②

カリキュラムディレクタ

- 元私立小の教員（日本語バカロレアの立上げ）
- 探究学習、ICTが得意
"やさしさ"担当



五木田洋平
ヨヘイさん

*Learning Sherpa（ラーニング・シェルパ）
先生と呼ばず、「学びのプロガイド」の位置づけ

ヒロック初等部（カリキュラム）



ヒロック初等部 (形成学力:4つのC)



Confidence

"自信": 人と比べることなく、自分らしく

Creativity

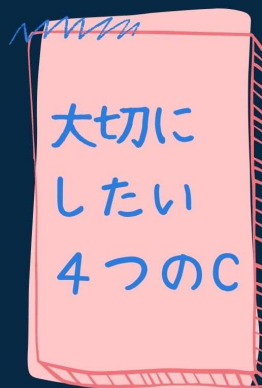
"創造・表現": 一歩踏み出す勇氣!

Caring

"配慮": 思いやり、ユーモア!

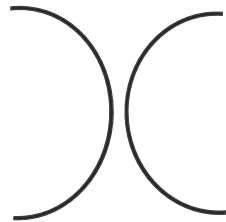
Contribution

"貢献": 多様性、チームワーク!



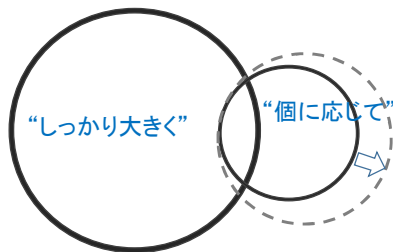
	月	火	水	木	金
9:00	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム
	自由進度学習 (自己調整)	数と論理15min	数と論理15min	数と論理15min	自由
		思考と言語15min	思考と言語15min	思考と言語15min	
10:00		英語15min	英語15min	英語15min	
	英語	数と論理	思考と言語	英語STEAM	
11:00	体育	自由	自由	自由	
	ランチタイム	ランチタイム	ランチタイム	ランチタイム	ランチタイム
12:00	掃除10min	掃除10min	掃除10min	掃除10min	掃除10min
13:00	テーマ	マイプロ/ クラス会議 (SEL)	どうしても/ 表現	テーマ	マイプロ
14:00					
14:30終	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム	サークルタイム

日本語軸バイリンガル(日本語:英語=8:2)

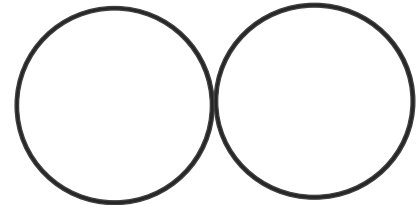


セミバイリンガル
・両方の言語が中途半端

日本語軸バイリンガル ・日本語教養ベース／英語話者



バイリンガル準備期間
【聴く】子ども時代に“耳”を徹底
【語彙】将来は日3万語:英1万語
【話す】堂々と論理的に
上記を目標に基礎づくり「細く、長く、楽しく」
→最後は本人次第(中高大社の取り組み)



Equilingual
・両方の言語がネイティブ
(母語の違う父母／円の大きさは人による)

HILLOCK 初等部の概要

定員: 2023年度募集9名程度(含むHILLOCK幼児部内部進学)

(2022年度:新1～3年生、各9名・5名・4名の18名、外部生は24名応募に対し12名選考)

クラス: 月～金／9:00～14:30

運営: NPO法人ソダチバ・プロジェクト 私塾(地元公立に籍は置く)

教員: 元小学校教諭のシェルパ2名＋外部招へいシェルパ

場所: 砧公園隣接(世田谷区)

費用: 入会金20万円、年間学費108万円、年間教材施設費12万円

(税別) (バス通学者のみ年間車両等施設充実維持費24万円、有志寄付一口10万円)

